

新宮山彦ぐるーぷ第2052回

浦向道尾根の丸木橋架け替え工事、鋼鉄製「川島橋」と命名

◇実施日；2019年11月10日(日) 晴

◇参加者；

宇陀市；植平工業(株)会長 植平修氏

新宮市；沖崎吉信、児嶋道夫、橋本梓、濱野兼吉、生熊敏男・千満子、大江加代子、畑林清子、上村洋司・和美

紀北町；樋口義也、奥村順夫、高階鈴子・美根子

熊野市；山川治雄、岩本信行

山口県；野原龍夫

和歌山市；瀧本昭太郎 西宮市；大門健一 堺市；梶野照雄

(21名)



登山口に集結



川島前代表の慰霊



撤去前の丸木橋

浦向道尾根の架橋経緯

- 一、平成24年の暮れ、瀧本昭太郎氏から「尾根の一ヶ所が陥没して危険な状態である」と連絡があった。
- 二、平成25年1月27日、10名が出向き仮橋(4m、5本)を設置。
- 三、平成25年3月3日、玉岡、生熊、沖崎の3名で仮橋の状態見分と架橋に必要な寸法を計測
- 四、平成25年4月8日、10名が出向き、7.3mの間伐材3本を使って再架橋。
- 五、平成31年4月、会友の椎木さんから植平修を紹介され、植平氏より鋼鉄製橋の提供の申し出を頂く。
- 六、令和元年6月22日、植平氏ほか3名で架橋現場に向かい現状の見分と採寸を行う。その後、完成した橋の部材を植平氏(単独で登山口に運びデポされる)。
- 七、令和元年8月11日、新橋の部材荷揚げ、運搬、架橋工事を予定していたが、荷揚げ開始直後に川島前代表が急逝し、中止となった。

川島前代表の急逝以後、何回かに分けて新橋の部材を架橋現場まで全て運び込んだので、工事に先立っての運搬は不要になった。架橋工事は6〜7人で可能であるが、この行事は今年6月に行った釈迦如来像土台修復と併せ、本年の二大行事の一方であり、今回の行事を「慶事」「お祝い事」と位置付ける事として会友の皆さんに呼びかけ21名の大人数の参加となった。

山口県防府市から遠路駆けつけて下さった野原さんは。川島前代表の告別式に参列予定だったが、台風の為かなわず、その後川島宅へお悔やみに出向くとの申し出を頂いていたが、浦向道「川島橋」の架橋工事に合わせて来新、参加されることとなった。

川島前代表の葬儀の際山口グループを代表して参列された林一夫氏に浦向道の橋を「川島橋」と命名したい旨をお伝えしていたが、それに賛同された山口グループの皆さん（林、野原、伊藤、金光、中島、岡本の五氏）からそれぞれ金一封を頂いた。

工事予定日の数日前から工事の段取りや、完工後のお祝いなどをイメージして、工具や供物などを準備し当日を迎えた。

当日は暑くも無く、寒くも無く、無風で快晴。素晴らしいお天気に恵まれた。



丸木橋の撤去作業

新橋の組立

予定の8時30分前には全員が林道登山口に集結し、本日の段取りとスケジュール、安全第一で作業を進めてください。とお願いした。

架橋現場まで登る途中、川島前代表が急逝した現場で全員が線香を供え、植平さんが導師となって般若心経唱えさせて頂いた。モノレール終点から各々が工具やお供え物などを手にして架橋現場に到着。早速旧橋の撤去に着手する。



新橋の組立作業

この橋の下の陥没は、左右が急勾配で落ち込み、足元は木の根で繋がってはいるが、その下は完全な空洞になっているので、橋の下で作業する瀧本、児嶋の両名はハーネスとザイルで体を確保して作業していただいた。

足元の踏み板をバールで外し、7mの丸太3本を手前に引き寄せるが、長さと重さに加え足元が斜面なので苦戦を強いられた。チェーンソー持参の梶野君が1.5m×2m位に小切り運搬を容易にしてくれた。

作業人数が多いので撤去作業は順調に進み、約30分で旧橋は完全に撤去できた。続いて新橋の組み立て作業に入る。





「川島橋」看板設置



本日の参加者



「川島橋」の安全祈願

長さ5mの主桁は旧橋撤去前に渡していたので、主桁を縦に置き左右を繋ぐ横板を取り付ける。両端の横板が固定されて、橋の位置決めや水準調整を行う。手摺用のパイプを取り付けて、床板のエキスパンドメタル5枚を取り付けた。ボルトの締め付けで、数カ所がメッキの厚みのためか締まりにくいところがあったが、後日タツピングをして締め直すこととした。最後に手摺用パイプにチェーンを取り付けて「川島橋」が完成した。

新橋の組み立ては2時間少々で終了した。

尚、植平さんは橋桁下の崩落状態からワイヤーでステーを取り、安全対策を講じる処置を後日行われる。

道具類の片付けと併せて、山川、梶野のチェーンソー組は橋直近の立木を倒す作業を行う。強風などで立木が大きく揺れる、或いは傾いた場合、橋桁下の土台と一緒に傾くのを避けるためである。

完工した新橋の行仙宿側と浦向側それぞれに「川島橋」と表記した看板を設置した。



「川島橋」の看板



渡り初め

新橋の行仙宿側にテーブルを広げ、お供え物(大根、人参、茄子、里芋、ミカン、リンゴ、キウイ、清酒と紅白の餅20箱)を置く。通常、神式で執り行う安全祈願であるが、奥駈道に続く場所であるので、榊を奉納、般若心経を唱える神仏習合方式で行った。各自、2札2拍1札で榊を奉納し、橋の安全を祈願した。

架橋現場での行事は全て終了、全員行仙宿へ向かった。途中の送電線下の伐採された木を薪材用に小屋迄運ぶ。

昼食後、薪造りや小屋内の清掃などを行い、下山、解散した。

「川島橋」の設置に関して、植平会長様には特段の御配慮を賜り完工を迎えたことに対して衷心より厚く厚くお礼申し上げます。

本日、21名の多くの仲間がお集まりいただいた。また、山口グ

ープの皆さんからもご協力を頂いた。  
川島も高いところから「立派な橋が出来たやないか」と言っている  
だろう。

(記：沖崎 写真：梶野)

### 行動タイム

08：30 登山口→08：45 川島前代表の慰霊→09：22 架橋現場→09：  
52 旧橋撤去完了→10：56 新橋の組立完了→11：25 安全祈願→12：  
21 行仙宿 14：10→14：45 登山口